



info! ながさき

Information of Nagasaki Prefectural Education Center

発行日 平成29年5月8日(月)

特集

◇特別支援学級及び通級指導教室の教育課程について

◇平成29年度研修講座一覧 7~10月分

「授業の力」

長崎県教育センター所長 長谷川哲朗

授業について考え、論じるとき、決まって思い起こす文章がある。

授業というものには、子どもの中に、その深いところにしまい込まれているものを掘り当ててそれを引き出すという機能がある。それが授業である。それが教育である。授業にはそれほどの力があるのだ。

林竹二先生の言である。授業力などという輪郭のはっきりしないイメージだけで語られるものと比べると、これほど授業の本質を衝くものはない。「授業の力」とは、授業という営みが本源的に宿している力のことだ。

授業という場には、子どもがいて子どもたちがいる。教師がいる、教材がある。子どもと教師との問答、子ども同士の対話や交流、教材との向き合いが、深いところにその子の学びを生み出し、それが授業という営みの中で掘り起こされていく。

授業とは、この授業のもつ力を発現させ、機能させることだ。授業の力が満ち満ちた教室は、子どもを新しい学び手へとつくりかえていく。

だから教師には、授業の力を巧みに生かして、子どもの中に学びを生み出し、それを引き出していく力量が求められる。そして、生み出され、引き出されたものを、その子の言葉や表情、所作から感知し、その内側を推し量って、そこから教室全体の学びを紡ぎ出していき、そんな力量を備えたい。

このような授業の本質を抜きにして、指導過程や指導方法など、どう教えるか、という地平だけで授業づくりを論じても、その授業は子どもを置き去りにした底の浅いものになるのではない。

思うに、今次の課題である主体的な学びの姿勢も、多様な対話的な手法も、そして目指すところの学びの深さも、この授業の力を抜きにしてはありえない。アクティブ・ラーニングの視点とは、本源的な授業の力を呼び起こすもの、そうとらえている。



平成29年度 長崎県教育センター事業について

【基本方針】

「長崎県教育センター条例」第2条に則り、教職員研修、教育相談及び調査研究等の取組を通して、「学校支援・教員応援」に徹する。

【重点目標】

- ① シンクタンクとして提案性のある調査研究の推進
- ② 本県の実情・実態と今日的課題を踏まえた教職員研修の充実
- ③ 子どもたち一人一人の発達や学びを支援する教育相談の充実
- ④ 情報発信、事業浸透及び成果普及の促進
- ⑤ 指導職及び研修員個々の多面的な力量開発と伸長
- ⑥ 「チームセンター」「ファミリーセンター」づくり



今年度もよろしくお願ひいたします

○所長	長谷川哲朗	○研修部長兼教科・経営研修課長	西田 哲也
○副所長	渡川 正人	○総務課長	中村 宏平
○総務企画部長兼企画課長	山口 博徳	○教育支援研修課長	宮崎 耕二

9本の学習指導案が増えて、31本の実践事例がそろっています！

小学校	学年	単元名（教材名・題材名）
国語科	3年	科学的なことについて書いた本を読んで、友だちにしょうかいしよう～文章の細かい点に注意しながら読み、引用や要約をして表そう～（ありの行列）
	5年	読み手を納得させる書き方を読み取って、分かりやすい意見文を書こう（天気を予想する、グラフや表を用いて書こう）
算数科	2年	はこの形
図画工作科	3年	絵の具と水のハーモニー
中学校	学年	単元名（教材名・題材名）
国語科	2年	職業ガイドを作ろう～多様な方法で情報を集め、自分の考えを明確にする～
社会科	1年	世界の諸地域 北アメリカ州（アメリカ発祥の生活様式・文化）
数学科	2年	三角形と四角形（平行四辺形になるための条件）
理科	1年	力と圧力
	2年	酸化と還元



①長崎県教育センターのトップページから「玖島の杜」をクリック。

②ログインIDとパスワードは、管理職の先生にお尋ねください。

授業構想シートや板書計画、ワークシート、評価問題等、授業で活用できる資料が豊富にそろっています！

教育相談班 新規講座のご案内

「特別の教科 道徳」の充実を目指す先生方におすすめ

道徳の授業スキルアップ研修講座

～教科化を踏まえた道徳教育の在り方～

日時：9月15日（金）

対象校種：小学校、中学校、特別支援学校

学習指導要領が目指す道徳教育の在り方についての理解を深め、実践的な指導力の向上を図るための研修講座を新しく開講することにしました。

京都産業大学の柴原弘志先生を講師としてお招きし、「特別な教科 道徳」の授業づくりに向けた講義・演習を行います。

教科化されるとどうなるの？



どんな授業をすればいいの？

柴原弘志 先生（京都産業大学 共通教育推進機構 教授 教職課程教育センター長）

【略 歴】文部科学省教科調査官 京都市立中学校校長、京都市教育相談総合センター所長 等

【著 書】『中学校 新学習指導要領の展開 特別の教科 道徳編』（明治図書 2016）他

【社会活動】中央教育審議会初等中等教育分科会専門委員 他

小学校音楽科授業力アップ研修講座 ～やってみよう！楽しい「音楽づくり」の授業～

日時：8月17日（木） 対象校種：小学校、特別支援学校

講師：筑波大学附属小学校 教諭 高倉 弘光 先生

「音楽づくり」の授業って難しい・・・そう悩んでいませんか？

この研修講座では、鑑賞との関連も視野に入れた様々な「音楽づくり」の授業のヒントが得られます。



◆受講申し込み締切りが迫っています！小学校は6月15日（木）＜市町教育委員会へ＞、
特別支援学校6月21日（水）＜教育センターへ＞です。

中学校音楽科・高校芸術科(音楽)授業力アップ研修講座 ～「創作」の授業の充実を目指して～

日時：10月18日（水）・19日（木）

対象校種：中学校、高等学校、特別支援学校

講師（19日のみ）：開智国際大学 教授 坪能 由紀子 先生

「創作」の授業づくりを、この分野の専門家であり、学習指導要領改訂にも携わってこられた坪能由紀子先生をお招きして学びます。



高校研修講座のご案内 - 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて -

希望して受講する高校の教科研修講座の案内です。各教科での「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、実践的な指導力を高めます。必要に応じて、各教科の授業でのICT活用についても扱います。研修で多くの先生方と共に、授業づくりのスキルアップを目指しましょう。

主権者を育てる社会科、地理歴史科・公民科研修講座

中学校・高等学校・特別支援学校の社会科、地理歴史科・公民科でどのような視点を基に「主権者教育」を行うのか考えます。

中高を通した体系的な指導を図る高校教科指導（理科）研修講座

中学校と高校の系統を理解し、講義・演習を通してアクティブ・ラーニングの視点を取り入れ、評価を効果的に活用した授業を設計する力の向上を目指します。

高校教科指導（数学）研修講座

中学校と高校の「接続」を意識した授業づくりを、高校数学の中で行う方法について考えます。

言語活動の充実を図る中学校・高校教科指導（英語）研修講座

中学校・高校の先生方と共に英語の学力について考えを深め、模擬授業づくりを通して、4技能を総合的に伸ばす単元づくり・授業づくりに役立てます。

高校教科指導（国語）研修講座

生徒の思考を活性化する授業づくりを目指し、複数の受講者で協働して教材研究を行い、模擬授業づくりを行うことを通して、教材解釈力や分析力を高めます。

高校教科指導（英語）研修講座

長崎県立大学麻生雄治先生と県内高校の実践発表者を迎え、模擬授業づくりを通して授業のステップアップを目指します。

28年度受講された先生方の声



初めてお会いする先生との意見交換で「なるほど」と思える工夫や手立てを見せていただき、何より刺激になった

中学校の先生方との協議で、互いに課題と感じていたことを共有できたのが大きな成果だと思う。

◆ 講座や申し込み締切り期日は「研修講座一覧表」でご確認ください。

出前型研修

長崎県教育センター所員を派遣します(出前型研修)

県教育センターの指導主事を派遣し、研修講座で用いる資料等を活用して、県内の学校や教育研究団体等での研修に対する支援を行います。

出前講座

- ①市町教育委員会
- ②公立学校 ※公立幼稚園及び公立保育園型認定こども園を含む
- ③教育研究団体等

「出前講座の利用案内」の出前講座一覧に設定されている内容
講座一覧はこちら
※詳細についてはご相談ください

Web申込み	実施期間	受付期間
I期	6/25～7/31	4/15～5/15
II期	8/1～10/31	6/1～7/1
III期	11/1～1/31	9/1～10/1

教育センター職員への派遣に係る費用は教育センターが負担

講座依頼は各団体年1回が原則
※研修内容の実現を図るため「講義」と「研究協議」または「演習」の構成で実施します(時間は90～180分程度)

以下からダウンロードしてください
利用案内(実施要項) 依頼書 WORD

研究援助

- ①市町教育委員会
- ②公立学校 ※公立幼稚園及び公立保育園型認定こども園を含む
- ③私立学校 ※私立幼稚園及び私立保育園型認定こども園を含む
- ④教育研究団体等

教育センターが開講する各種講座に関わる内容
※詳細についてはご相談ください

電話申込み	実施期間	受付期間
	5/1～2/28	実施の1か月前まで

TEL 0957-53-1186
(県教育センター企画課)

教育センター職員への派遣に係る費用は依頼元が負担

援助依頼は各団体年1回が原則
※研究会への「参加」のみの要請やコンテスト等の「審査」等の要請についてはご相談ください

以下からダウンロードしてください
派遣額 PDF 実施要項 派遣額 WORD

対象
内容
実施・申込
旅費
留意点
詳細

クリック



県教育センターWebサイトのこちらのボタンが出前型研修の入り口です。

県教育センターの所員が学校に出向き、講座を開設する出前型研修には**出前講座**と**研究援助**があります。

出前講座では授業改善や特別支援教育、ICTの活用、不登校の予防等、今の教育課題にそったメニューを準備し、みなさんのニーズにお応えします。出前講座の実施要件を満たさない内容については研究援助で対応いたします。

出前講座と研究援助の詳細な内容や申込み方法についてはWebサイトをご覧ください。

出前講座の受付期間を変更しました!

	実施期間	受付期間
I期	6/25～7/31	4/15～5/15
II期	8/1～10/31	6/1～7/1
III期	11/1～1/31	9/1～10/1

「風に乗って」

総務企画部長兼企画課長 山口博徳

風薫る5月。

学校に吹く風はどんな薫りがしているのだろうか。歴史と文化、自然、地域の環境から生まれる風。校舎の壁に染みた喜怒哀楽のエッセンスや運動場に落ちた汗と涙が漂う風。これらの風が校風となり、薫る。

「教員は学校で育つ」。この事実は揺るがない。学校には、校風の主たる構成者であり、最も厳しい評価者である子どもがいる。教員は、常に子どもが生み出す風に吹かれて成長している。

また、学校には同じ風を受けている同僚がいる。描く理想と現実の距離を共有する仲。学級、学年、教科を超えて授業を語り合い、子どもを語り合う。

学校の風通しがよくなる。よりよき風を受け、また教員が育つ。

センター所員にも学校の風を浴びさせたい。研修講座に学校の風をもってきてほしい。議論の風を吹かせ、理想と現実の融合を図ろう。講座を主体的・対話的で深い学びの場に高めたい。現地向く「出前講座」等では、直接風を当ててほし

い。所員は、生命の息吹と人肌の熱を含んだ独自の風を体全体で感じる。順風ならば更なる推進力となる。逆風ならば盾になる。覚悟をもって対峙する。

学校支援を通して、所員の得るものは図り知れない。

行政も風を起こしている。国は、教員の資質向上のための指針を作り、県はそれをもとに大学等と連携し、資質向上の指標を作成している。教員が更なる高みを目指す手掛かりとして、「どの時期までに、どういう力をつけるか」を示すものである。教員の学び続ける意欲を喚起し、教員自身が学び続ける子どもの道標となるためのものである。

この指標に応じて研修体系、研修計画も見直される。学校とセンターの思いや願いが一つになる。

センターの前には穏やかな海、大村湾がある。この海は、全ての海に繋がっている。

センターの思いを笹舟に乗せて全ての学校に届けたい。

流れに任せては難しい。風を起こそうと思っている。



長崎県教育センター

センター通信 第22号

〒856-0834 長崎県大村市玖島1丁目24-2

子どもたちのよりよい姿容のために、教育関係機関との連携を深め、実効性のある事業推進をめざします。

総務課
電話 : 0957 (53) 1131
FAX : 0957 (54) 0578
企画課
電話 : 0957 (53) 1186
FAX : 0957 (53) 1190
教科・経営研修課
義務教育研修班
電話 : 0957 (53) 1132
FAX : 0957 (54) 6496

高校教育研修班
電話 : 0957 (54) 6341
FAX : 0957 (54) 6496
教育支援研修課
特別支援教育研修班
電話 : 0957 (53) 1130
FAX : 0957 (52) 9242
教育相談班
電話 : 0957 (52) 9241
FAX : 0957 (52) 9242

【組織改編のお知らせ】

これまでの特別支援教育担当と教育相談担当を統合して**教育支援研修課**としました。子どもの育ちや課題に応じたよりきめ細かな相談業務と研修に取り組みます。

特別支援学級の教育課程は

- ① 「※**自立活動**」を取り入れること。
- ② 各教科等の目標や内容を**下学年の教科の目標や内容に替える**ことができる。
（第3学年でも第1学年の教科書を使用して学習できる）
- ③ 知的障害者である児童生徒を教育する**特別支援学校の各教科等の目標や内容に替える**ことができる。（知的障害がある場合）
- ④ 特に必要がある場合には、③に示す各教科等の目標や内容の全部又は一部を合わせて指導することができる。（知的障害がある場合、生活単元学習など）

特別支援学級において、特別の教育課程を編成する場合、児童生徒の障害の程度（知的障害がある場合、ない場合等）や学級の実態等を考慮の上、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領を参考とするなど、実情に合った教育課程を編成する必要があります。

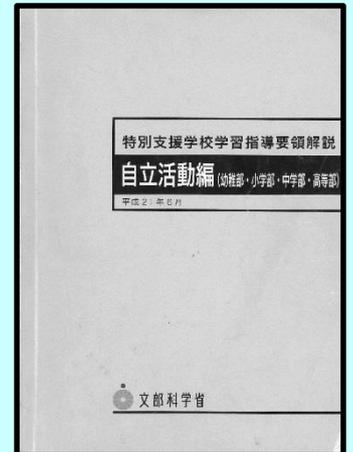
重要



特別の教育課程についてチェックしてみましょう
知的障害がある場合とない場合とで大きく異なります

自立活動とは

※「**自立活動**」は、個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培うことを目標としています。
（特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編 平成21年）



知的障害がない児童生徒の場合	Check	知的障害がある児童生徒の場合	Check
○自立活動の時間を設定している		○自立活動、道徳、総合的な学習の時間、特別活動を取り入れている （小学校では外国語活動も含む）	
○各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動を設定している （小学校では外国語活動も含む）		○各教科等の目標や内容を実態に応じて教育課程を編成している （下学年の目標や内容及び知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科に替えることができる）	
○生活単元学習や日常生活の指導など、教科等を合わせた指導は取り入れていない （知的障害がない場合、教科等を合わせた指導の形態をとることはできません）		○各教科等を合わせた指導を行っている場合、各教科等との関連を図っている	

通級指導教室の教育課程は

- ① 「※自立活動」を取り入れること。
- ② 「自立活動」を障害の状態に応じて各教科の内容を取り扱いながら行うことができる。

特別の教育課程についてチェックしてみましょう
(全て○になりますか)

通級指導教室において	Check
○自立活動の指導をしている。	
○自立活動の「個別の指導計画」を作成している。	
○単なる教科指導は行っていない。	

通級による指導が効果的に行われるよう、各教科等と通級による指導との関連を図るなど、教師間の連携に努めることが大切です。



高等学校における通級による指導が平成30年度から制度化され、県内の一部の高等学校に通級指導教室が設置される予定です。

「学び直し授業動画」公式アプリ登場!!



長崎県教育センター「**学び直し授業動画**」公式アプリが完成しました。スマートフォンで、いつでも、どこでも、簡単に視聴することができます。Android2.2 以上に対応しています。Google Play で「学び直し」で検索してください。もちろん**無料**です。高校生にも勧めてください。



学校支援サイト「**玖島の杜**」が新しくなりました。ぜひ、ご活用ください。



平成29年度 長崎県教育センター 研修講座一覧(7月～10月分)

期	期日			講座番号	研修講座名		対象・定員						該当	宿泊	申込み締切日		
	月	日	曜日		講座タイトル	サブタイトル	幼	小	中	高	特	行			計	義務	県立
2期	7	3 4	(月) (火)	セ39	小・中学校「次代を担うミドルリーダー」 研修講座<継続-前期>			20	10				30	○	○	5/15 (月)	5/22 (月)
	7	3 4	(月) (火)	セ40	県立学校新任教頭研修講座					11	5		16	○	○		
	7	5 6	(水) (木)	セ41	特別支援学級担任及び通級指導教室担当者 (2年目) 研修講座	高めよう実践力		110	50	5	5		170				
	7	10 11	(月) (火)	セ42	共通教科情報プログラミング入門研修講座	Scratch・VBAを用いたプログラミング入門				20			20				
	7	11 12	(火) (水)	セ43	主催者を育てる社会科、地理歴史科・公民 科研修講座	主体的に社会の形成に参画する態度を育成する 授業づくり			10	10	5		25				
	7	13 14	(木) (金)	セ44	E S Dの視点を取り入れた環境教育入門研 修講座	環境教育における体験学習の実践	5	5	5	5	5		25				
	7	13 14	(木) (金)	セ45	学校事務職員(10年経過)研修			8	4	2	2	0	20	○	○		
	7	24 25 26	(月) (火) (水)	セ46	公立小学校初任者研修(センター研修Ⅱ)								140	○	○		
	7	26 27	(水) (木)	セ47	幼稚園等新規採用教員研修Ⅱ(宿泊研修)			60					60	○	○		
	7	26 27 28	(水) (木) (金)	セ48	県立高等学校初任者研修(センター研修 Ⅱ)					54		0	59	○	○		
	7	26 27 28	(水) (木) (金)	セ49	公立特別支援学校初任者研修(センター研 修Ⅱ)						56		56	○	○		
	7	8	31 1	(月) (火)	セ50	幼稚園等中堅教諭等資質向上研修(全体・ 保育専門研修)		25					25	○			
7	8	31 1 2	(月) (火) (水)	セ51	公立中学校初任者研修(センター研修Ⅱ)				80			80	○	○			
8	2 3 4	(水) (木) (金)	セ52	公立小学校中堅教諭等資質向上研修(コ ース別研修)			45					45	○				
8	2 3 4	(水) (木) (金)	セ53	公立特別支援学校中堅教諭等資質向上研 修(コース別研修)			2	2		28		32	○				
8	8	(火)	セ54	公立学校教職経験15年・20年経過教員 研修・全体研修(大村・諫早・島原、西 彼、東彼地区)			73	65	46	30		214	○				
8	10	(木)	セ55	養護教諭のための学校カウンセリング研 修講座	よりよい保健室経営のためのヒントが満載		7	7	7	4		25					
8	16 17 18	(水) (木) (金)	セ56	幼稚園等新規採用教員研修Ⅲ(県教育セ ンター研修)			90					90	○				
8	17	(木)	セ57	小学校音楽科授業力アップ研修講座	やってみよう!楽しい「音楽づくり」の授業		15			5		20					
8	17 18	(木) (金)	セ58	小学校図画工作科「アクティブ・ラーニ ングの視点からの授業づくり」研修講座	わくわく!のびのび!楽しさ実感!水彩絵の具 とねん土をつかった創作活動	2	8			6		16					
8	22	(火)	セ59	公立学校教職経験15年・20年経過教員 研修・全体研修(県内全島・西海・松浦・ 平戸・北松地区、中核市の県立校)			50	53	75	24		202	○				
8	23 24 25	(水) (木) (金)	セ60	公立中学校中堅教諭等資質向上研修(コ ース別研修)					35			35	○				
8	23 24 25	(水) (木) (金)	セ61	県立高等学校中堅教諭等資質向上研修 (コース別研修)	アクティブ・ラーニングの視点の導入やICTの 効果的な活用を図る授業づくり				43			43	○				
3期	9	12 13	(火) (水)	セ62	公立小・中学校教頭3年目研修講座			39	23				62	○	○		
	9	14 15	(木) (金)	セ63	学校事務職員(20年経過)研修			17	7	6	11	0	50	○			
	9	15	(金)	セ64	道徳の授業スキルアップ研修講座	教科化を踏まえた道徳教育の在り方		20	20		5		45				
	9	26	(火)	セ65	学校事務職員(25年経過)研修			22	18				40	○			
	9	26 27	(火) (水)	セ66	中学校技術・家庭科、高校家庭科「次期学 習指導要領を踏まえた授業改善」研修講座	<技術>プログラミング教育を中心に <家庭>ICTを効果的に活用しよう			18	4	6		28				
	9	26 27	(火) (水)	セ67	今求められる「学級経営」研修講座	児童生徒が主体となる学級集団づくり		20	20		5		45				
	9	28 29	(木) (金)	セ68	中学校数学科「学習指導要領改訂を踏ま えた授業づくり」研修講座	数学科で身に付けるべき資質・能力を育成する 学習過程とは?みんなで構想します				25			25				
	9	28 29	(木) (金)	セ69	高校教科指導(数学)研修講座	中学校と高校の円滑な「接続」を目指して				20	5		25				
9	28 29	(木) (金)	セ70	不登校の予防と対応研修講座	事例に学び、実践に生かそう		3	9	9	4		25					

期	期日		講座番号	研修講座名		対象・定員							該当	宿泊	申込み締切日		
	月	日		曜日	講座タイトル	サブタイトル	幼	小	中	高	特	行			計	義務	県立
3期	10	23	(火)	セ71	中学校外国語科「指導と評価の改善を図る授業づくり」研修講座	学習到達目標（CAN-DOリスト）の活用をとおして			21				21	○		8/17 (木)	8/23 (水)
	10	34	(火)	セ72	特別支援学級担任及び通級指導教室担当者（新任）研修講座②			120	55	5	5	185					
	10	34	(火)	セ73	実践に学ぶ生徒指導研修講座	生徒指導の心と技を身につけよう		4	10	10	3	27					
	10	12	(木)	セ74	小学校外国語科「学習指導要領改訂を踏まえた授業づくり」研修講座	アクティブ・ラーニングの視点から「言語活動の充実」について考えよう		20			5	25					
	10	12	(木)	セ75	中学校外国語科「学習指導要領改訂を踏まえた授業づくり」研修講座	アクティブ・ラーニングの視点から「言語活動の充実」について考えよう			25			25					
	10	12	(木)	セ76	中学校理科「アクティブ・ラーニングとICT活用の視点でデザインする授業改善」研修講座	全ての生徒が学び合う！一人一人が問題発見・探究する力を育てよう			20		5	25					
	10	16	(月)	セ77	女性教職員の活躍を目指したキャリアアップ研修講座			25	25			50	○				
	10	16	(月)	セ78	県立学校若手教職員研修（3年目研修：全体研修）					57	37	○	94	○			
	10	18	(水)	セ79	中学校音楽科・高校芸術科（音楽）授業力アップ研修講座	「創作」の授業の充実を目指して			6	6	4	16					
	10	23	(月)	セ80	公立小・中学校若手教職員研修（3年目研修：全体研修）			84	52	2	1	139	○				
	10	25	(水)	セ81	中高を通した体系的な指導を図る高校教科指導（理科）研修講座	アクティブ・ラーニングの視点を取り入れて評価を効果的に活用した授業モデルの開発			3	15	2	20					
	10	26	(木)	セ82	校務ICT化のためのExcel応用研修講座	便利な関数とVBAによるマクロ活用の基礎		7	7	7	4	25					
	10	26	(木)	セ83	高校教科指導（英語）研修講座	英語による言語活動を生徒が主体的に協働して行う授業づくり				22	3	25					
	10	26	(木)	セ84	高校教科指導（国語）研修講座	アクティブ・ラーニングの視点を取り入れて「読む力」を高める古文の授業づくり				20	5	25					
10	26	(木)	セ85	小・中学校道徳研修講座	基本的な授業づくりを学ぼう		11	11		3	25						
10	30	(月)	セ86	公立学校校長2年目研修講座			48	21	13	5	87	○					
9	29	(金)	セ201	不登校の予防と対応研修講座（1日コース）	事例に学び、実践に生かそう	1	1	1	1	1	5	○		7/14 (金)	7/21 (金)		
10	4	(水)	セ202	実践に学ぶ生徒指導研修講座（1日コース）	生徒指導の心と技を身につけよう	1	1	1	1	1	5	○		8/17 (木)	8/23 (水)		

10月11日(水)	セ113	ICT教育推進 地区別研修会（松浦会場）	実態を踏まえたICT機器の活用	別途通知															
10月31日(火)	セ114	ICT教育推進 地区別研修会（長与会場）	実態を踏まえたICT機器の活用																
11月14日(火)	セ115	ICT教育推進 地区別研修会（雲仙会場）	実態を踏まえたICT機器の活用																
12月13日(水)	セ116	ICT教育推進 地区別研修会（大村会場）	実態を踏まえたICT機器の活用																
1月29日(月)	セ117	ICT教育推進 地区別研修会（壱岐会場）	実態を踏まえたICT機器の活用																
8月7日(月)	★	ステップアップセミナー									500						6/15 (木)	6/21 (水)	
11月13日(月)	★	学校経営セミナー										95						9/15 (金)	9/21 (木)

- 希望研修、該当者が受講する研修、希望及び該当者が受講する研修です。期日の新規に開設する研修講座です。
- 「該当者が受講する研修講座」については、事前の確認をお願いします。
- 受講を希望する方は、申込み締切日に注意して所属長に申し出てください。
- 講座番号は、全校種を通した番号です。
- 旅費は県教育センターで負担します(県立学校は別途令達)ので、旅費システムにより処理してください。
なお、市立高校、国・私立学校(幼稚園を含む)は、すべてその学校負担となります。
- 研修内容や受講手続き等については、県教育センターWebページを参照してください。

申込み締切日について

【義務】:各学校から市町教育委員会へ申し込む締切日
【県立】:各学校から県教育センターへ申し込む締切日

11月分以降は、次号に記載します。

